



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年7月29日

上場会社名 株式会社寺岡製作所 上場取引所 東
 コード番号 4987 URL <https://www.teraokatape.co.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)辻 賢一
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理本部長 (氏名)石崎 修久 (TEL) (03)-3491-1141
 四半期報告書提出予定日 2019年8月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	5,427	△8.5	29	△95.0	△36	—	△34	—
2019年3月期第1四半期	5,933	9.9	578	107.9	707	131.0	488	136.9

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 △347百万円 (—%) 2019年3月期第1四半期 502百万円 (14.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	△1 35	—
2019年3月期第1四半期	19 26	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	35,143	28,504	81.1
2019年3月期	35,854	28,978	80.8

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 28,504百万円 2019年3月期 28,978百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	9 00	—	5 00	14 00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	5 00	—	9 00	14 00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	12,230	2.6	460	△51.7	520	△55.0	400	△51.4	15 79
通期	26,000	10.4	1,400	22.4	1,510	10.5	1,170	13.2	46 19

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期1Q	26,687,955株	2019年3月期	26,687,955株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	1,355,190株	2019年3月期	1,355,169株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期1Q	25,332,770株	2019年3月期1Q	25,332,946株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出、生産ともに減速感が拡がりつつあるものの、人手不足の深刻化や働き方改革を背景に引続き省力化投資の需要があり設備投資の増加基調は続いています。一方、世界経済に目を移すと、米中貿易摩擦が長期化すると警戒感があり先行き不透明感が払拭されておらず、引続き予断を許さない状況が続いております。

このような経営環境のなか、当社グループは、第二次中期経営計画であるTeraoka100の後半、2018年4月から2021年3月までの3年間を対象期間とするTeraoka100 Phase2の2年目を迎え、中国・東南アジア市場への拡販に注力したものの、中国経済の低迷の影響は大きく、電機・電子用テープの売上が低調に推移しました。一方、企業統治や内部管理においては、監査機能の強化を図るとともに、全社的なコンプライアンス教育を計画的に実施することにより、企業風土改革を着実に進めております。

その結果、当連結累計期間の売上高は54億27百万円（前年同期比8.5%減）となりました。また、中期経営計画の実現に向け、将来の成長に必要となる人材の採用や研究開発等の費用が増加し、営業利益は29百万円（前年同期比95.0%減）、第1四半期末にかけての円高の進行により為替差損を計上したため経常損失は36百万円（前年同期は7億7百万円の経常利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失は34百万円（前年同期は4億88百万円の四半期純利益）となりました。

当社グループの事業は粘着テープの製造・販売の単一セグメントであります。製品部門別の売上高状況は以下の通りです。

(梱包・包装用テープ)

通販を中心とするコンシューマー関連製品、海外案件及び建築工事前用テープが堅調であった事により、当製品部門の売上高は8億86百万円（前年同期比1.3%増）となりました。

(電機・電子用テープ)

車載電装部品関連テープは一部を除き堅調であったものの、電子部品工程用テープ及び海外モバイル案件が低調であったため、当製品部門の売上高は27億16百万円（前年同期比14.6%減）となりました。

(産業用テープ)

自動車安全部品用テープの販売が低調、またインフラ・建築関連で主力製品である養生布テープ、ポリエチレンクロステープにも一服感が見られ、当製品部門の売上高は18億25百万円（前年同期比2.7%減）となりました。

(ご参考) 販売実績

(単位：百万円)

粘着テープ事業 製品部門	当第1四半期連結累計期間 2019年4月1日から 2019年6月30日まで		前第1四半期連結累計期間 2018年4月1日から 2018年6月30日まで		前年同期比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減金額	増減率
梱包・包装用テープ	(73) 886	16.3%	(70) 875	14.8%	10	1.3%
電機・電子用テープ	(1,693) 2,716	50.1%	(1,956) 3,181	53.6%	△465	△14.6%
産業用テープ	(61) 1,825	33.6%	(73) 1,876	31.6%	△50	△2.7%
合計	(1,828) 5,427	100.0%	(2,101) 5,933	100.0%	△505	△8.5%

(注) ()内の数字は海外売上高

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期末の総資産は、前連結会計年度末と比べ2.0%減少し351億43百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末と比べ1.2%減少し206億94百万円となりました。これは、主として電子記録債権の減少によるものです。

固定資産は、前連結会計年度末と比べ3.1%減少し144億49百万円となりました。これは主に保有株式の時価下落による投資有価証券の減少によるものです。

当第1四半期末の負債合計は、前連結会計年度末と比べ3.4%減少し66億39百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末と比べ2.7%減少し54億45百万円となりました。これは、主として未払法人税等の減少によるものです。

固定負債は、前連結会計年度末と比べ6.9%減少し11億93百万円となりました。

当第1四半期末の純資産合計は、前連結会計年度末と比べ1.6%減少し285億4百万円となりました。これは、主に保有株式の時価下落によるその他有価証券評価差額金の減少によるものです。

以上の結果、自己資本比率は81.1%（前連結会計年度末80.8%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の業績予想につきましては、2019年4月26日に公表いたしました業績予想に変更はございません。業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により、予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,425	9,431
受取手形及び売掛金	5,685	5,627
電子記録債権	1,273	1,112
商品及び製品	1,714	1,676
仕掛品	1,252	1,249
原材料及び貯蔵品	1,238	1,244
その他	355	359
貸倒引当金	△7	△7
流動資産合計	20,937	20,694
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	11,949	11,861
減価償却累計額	△8,512	△8,547
建物及び構築物(純額)	3,437	3,314
機械装置及び運搬具	22,487	22,418
減価償却累計額	△19,816	△19,870
機械装置及び運搬具(純額)	2,671	2,547
土地	4,046	4,036
リース資産	269	269
減価償却累計額	△40	△44
リース資産(純額)	229	224
建設仮勘定	172	176
その他	2,082	2,151
減価償却累計額	△1,857	△1,873
その他(純額)	225	277
有形固定資産合計	10,781	10,577
無形固定資産	209	189
投資その他の資産		
投資有価証券	3,579	3,345
繰延税金資産	35	35
退職給付に係る資産	119	121
その他	192	181
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	3,925	3,682
固定資産合計	14,916	14,449
資産合計	35,854	35,143

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,263	1,272
電子記録債務	2,602	2,465
リース債務	19	19
未払法人税等	190	28
未払費用	592	825
その他	925	835
流動負債合計	5,594	5,445
固定負債		
リース債務	229	224
繰延税金負債	283	201
環境対策引当金	315	315
退職給付に係る負債	42	43
資産除去債務	301	301
長期未払金	56	56
その他	51	50
固定負債合計	1,281	1,193
負債合計	6,875	6,639
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,057	5,057
資本剰余金	4,643	4,643
利益剰余金	18,039	17,878
自己株式	△462	△462
株主資本合計	27,278	27,117
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,445	1,277
為替換算調整勘定	263	117
退職給付に係る調整累計額	△8	△7
その他の包括利益累計額合計	1,700	1,386
純資産合計	28,978	28,504
負債純資産合計	35,854	35,143

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	5,933	5,427
売上原価	4,104	4,042
売上総利益	1,828	1,385
販売費及び一般管理費	1,250	1,355
営業利益	578	29
営業外収益		
受取利息	1	3
受取配当金	42	44
為替差益	90	-
その他	20	14
営業外収益合計	154	62
営業外費用		
為替差損	-	122
固定資産除却損	23	0
その他	1	5
営業外費用合計	25	128
経常利益又は経常損失(△)	707	△36
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	707	△36
法人税等	219	△2
四半期純利益又は四半期純損失(△)	488	△34
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	488	△34

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	488	△34
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△97	△167
為替換算調整勘定	117	△146
退職給付に係る調整額	△5	0
その他の包括利益合計	14	△313
四半期包括利益	502	△347
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	502	△347
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、見積実効税率を使用できない場合は法定実効税率を使用しております。なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。